

みどりの風

令和2年10月7日（水） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

6年生「総合的な学習の時間」から

6年生の総合学習は「夢に向かって」と題し、職業観や勤労観を育む学習に取り組んでいます。大きな夢を持ち、地元で根付いて働いている方々をGTとしてお招きし、仕事の話や職業観などを聞かせていただくことで、自分の将来について考える契機にするという目的です。10月1日、その第1回講演会が行われました。今回のGTは3名。高田町で鍛冶屋さんを営む宮崎 春生さん、玉之浦町で福祉施設「ゆうゆうの里」を運営する門原 淳一さん、そして、本校の学校栄養職員である玉木 みゆさんの3名です。子ども達は予め3つのグループに分かれ、それぞれに興味のある方の話を聞くという形で実施しました。

宮崎さんは、鍛冶屋さんになりたいと決意し、福岡のお師匠さんの元、5年間修行を積んだそうです。比較的柔らかい鋼に堅い鋼を挟んで打ち続ける手法は日本独特のもので、できあがった刃物は良く切れるのだそうです。実際、材料となる鋼や、完成した包丁などを持参いただき、子ども達の興味・関心を高めてくださいました。以前、岐宿町川原の国道沿いに店舗を構えておられましたので、ご存知の方も多いと思います。ちなみに、桶屋を営む弟さんにも来ていただく予定です。

門原さんは、過疎化の進む玉之浦町にあって、町の活性化に積極的に取り組む実践家です。介護や福祉という言葉の持つ「きつい」とか「重労働」というイメージを払拭し、町そのものを明るくする企業運営を心掛けているという話を伺いました。実際、ゆうゆうの里の車を派手な原色で塗装したり、雑誌とコラボしてイメージアップを図ったり。なかなかのアイデアマンでもあります。ゆうゆうの里の紹介動画には、主役のはずのお年寄りも一人も映っておらず、なぜかカヌー体験の様子が……。介護・福祉の仕事は、今後ますます必要となる仕事であり、やりがいのある仕事だと目を輝かせていました。

緑小の誇る栄養士：玉木先生。食でみんなを幸せにするというモットーを掲げ、日夜、安心・安全な給食提供のため働いてくださっています。病院や保健センター等で実習経験のある先生は、人が病気にならず健康な体を維持できるよう、子どもの食育に携わることを志し、学校栄養職員という道に進んだそうです。健康な体をつくるためのメニュー考案や、残食を減らすための工夫など、精力的に働いてくださいます。元々は沖縄出身の先生が五島市に赴任し、緑丘小の子ども達の健康を支えてくれること自体、奇跡的なことかもしれませんね。

かつて、中学校での職場体験でよしとしていた職業観学習も今では、小学校低学年から着実に資質を育てるキャリア教育に発展してきています。先輩、先達に学ぶことで自らの資質を問い、将来に向かって努力できる子どもを育てたいと思います。

第2回講演会は10月29日。桶屋さん、農家さん、消防士さん、カフェ経営者さんなど6名の先輩をお招きします。

